

- 問1 室町時代に京都で発生した応仁の乱では、それまでの戦い方とは異なる特徴を持つ「足軽」が活躍しました。この足軽に関する記述として、歴史的な背景を踏まえた正しいものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 主に徒歩で戦う歩兵であり、集団での戦闘や略奪を行うなど、戦乱による社会の混乱を象徴する存在であった。
2. 江戸時代末期に「ええじゃないか」の騒動を鎮圧し、開国による混乱を収めるために幕府が雇った傭兵であった。
3. 藤原道長による摂関政治を軍事面から支えるために組織された、貴族専属の精鋭部隊であった。
4. 一遍の教えに感銘を受けた農民たちが、平和な世の中を実現するために自発的に結成した自衛組織であった。
- 問2 1854年に日米和親条約が結ばれた際、開港地に指定された港町の一つでありながら、同年に発生した安政東海地震の大津波によって深刻な被害を受けた伊豆半島の地名はどこですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 長崎
2. 浦賀
3. 下田
4. 函館
- 問3 1854年に締結された日米和親条約の内容と、その背景について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. アメリカとの間で本格的な自由貿易を開始し、幕府が関税自主権を確保することを目的とした。
2. 長崎に加えて新たに下田・函館を開港し、キリスト教の布教を正式に許可することを目的とした。
3. 漂流民の救助や、船の航行に不可欠な薪水・食料を供給することを主な目的とした。
4. 外国船の排斥を定めた「異国船打払令」をさらに強化し、沿岸の警備を厳重にすることを目的とした。
- 問4 江戸時代の年表において、老中・水野忠邦が天保の改革を行っていた時期に、日本の対外政策に大きな影響を与えた国際情勢として最も適切なものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. アヘン戦争で清がイギリスに敗れ、東アジアにおける欧米列強の影響力が強まった。
2. 名誉革命によってイギリスで立憲君主制が確立し、議政政治が日本へ紹介された。
3. 辛亥革命によって清が倒れ、アジアで最初の中華民国が建国された。
4. 南北戦争を終結させたアメリカが、太平洋航路の拠点として日本に開国を迫った。
- 問5 1854年に江戸幕府がアメリカと結んだ日米和親条約では、アメリカ船の寄港地を確保するために伊豆半島と蝦夷地の2か所の港が開港されました。このうち、伊豆半島に位置する港の名前とその役割の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 浦賀 ― 江戸の防衛を強化し、通商条約の交渉を行うため
2. 長崎 ― オランダとの貿易を継続し、キリスト教の布教を認めるため
3. 函館 ― 生糸や茶を輸出し、外国の進んだ技術を導入するため
4. 下田 ― 漂流民の保護や、薪水・食料などを供給するため
- 問6 18世紀から19世紀にかけて、イギリス・清・インドの間で行われた貿易構造の変化について、その背景と目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. イギリス国内での綿織物の需要拡大を背景に、清へ直接工業製品を売り込むことで貿易黒字を目指した。
2. 清との貿易を有利に進めるため、イギリスはインドを仲介させて銀を日本へ運び、日本から茶を輸入する仕組みを作った。
3. 清から茶を輸入する代価として銀が流出したため、インド産のアヘンを清に売ることで銀を回収し赤字を解消しようとした。
4. インド産の茶を清に輸出するルートを確認し、清が保有する大量の銅銭をイギリス本国へ運ぶことを目的とした。
- 問7 1840年に発生したアヘン戦争において、清がイギリスに敗北したという知らせは、当時の江戸幕府に大きな衝撃を与えました。これを受けて幕府は、1825年に出された「外国船を見つけ次第攻撃する」という強硬な方針を改め、遭難した外国船に燃料や食料を分け与える方針を決定しました。この1842年に出された法令を何といいますか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
1. 日米和親条約
2. 武家諸法度
3. 異国船打払令
4. 薪水給与令
- 問8 1860年代の横浜港における貿易品目の特徴と、当時の貿易収支の状況について説明した文として、正しいものはどれですか。なお、当時の横浜港では、ある品目が輸出の65.1%を占め、別の品目が輸入の52.8%を占めていました。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 輸出品は茶、輸入品は武器が中心であり、輸入額が輸出額を上回る輸入超過の状態であった。
2. 輸出品は生糸、輸入品は綿織物が中心であり、輸出額が輸入額を上回る輸出超過の状態であった。
3. 輸出品は生糸、輸入品は綿織物が中心であり、輸入額が輸出額を上回る輸入超過の状態であった。
4. 輸出品は綿織物、輸入品は生糸が中心であり、輸出額が輸入額を上回る輸出超過の状態であった。
- 問9 イギリスの外交官アーネスト・サトウが通訳を務めた、江戸幕府最後の将軍は誰ですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 徳川慶喜
2. 徳川吉宗
3. 徳川家定
4. 徳川家茂
- 問10 南北戦争の最中、リンカーン大統領が北部側の正当性を国内外に示すために発表し、戦局を有利に進めるきっかけとなった宣言はどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. アメリカ独立宣言
2. 権利の章典
3. フランス人権宣言
4. 奴隷解放宣言
- 問11 幕末の開国後、日本と諸外国の間で金銀の交換比率が異なっていたため、大量の金が海外へ流出しました。この事態に対し、江戸幕府が金の流出を防ぐために行った対策と、それが社会に与えた影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 貨幣に含まれる金の量を増やした万延小判を発行したが、通貨不足となり深刻な不況を招いた。
2. 諸外国に合わせた金銀交換比率の変更を求めたが、拒否されたため、結果として国内の金銀価値が逆転した。
3. 貨幣に含まれる金の量を大幅に減らした万延小判を発行したが、貨幣価値が下がり激しい物価高騰を招いた。
4. 外国貨幣の使用を厳しく制限したが、密貿易が増加して江戸の物価が下落した。
- 問12 一八五三年に、マシュー・ペリー率いるアメリカの東インド艦隊が、江戸幕府に開国を求める親書を携えて来航した場所はどこですか。相模湾に面した三浦半島の先端付近に位置する、当時の外交上の重要地点の名称を答えなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
1. 函館
2. 浦賀
3. 長崎
4. 下田
- 問13 幕末から明治時代にかけて日本に駐在したイギリスの外交官で、卓越した日本語能力を活かして第15代将軍である徳川慶喜の通訳を務めたほか、日光の魅力を紹介するガイドブックを刊行するなど、日本の文化を海外に伝えた人物は誰ですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. ハリー・パークス
2. タウンゼント・ハリス
3. フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト
4. アーネスト・サトウ
- 問14 1861年から始まったアメリカの南北戦争の最中、ゲティスバーグでの演説において「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を述べ、民主主義の原点を示した大統領は誰ですか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
1. トマス・ジェファソン
2. フランクリン・ルーズベルト
3. ジョージ・ワシントン
4. リンカン

答え合わせ・解説

問1	答え 1 主に徒歩で戦う歩兵であり、集団での戦闘や略奪を行うなど、戦乱による社会の混乱を象徴する存在であった。	室町時代中期の応仁の乱では、特定の主君を持たず、報酬目的で動員された「足軽」と呼ばれる歩兵が戦いの中心的な役割を果たしました。彼らは従来の騎馬武者による一騎打ち形式の戦いを一変させ、集団戦や市街地での放火・略奪を行うなど、社会の無秩序化を加速させました。これは、家柄や伝統を重んじる中世的な秩序が崩れ、実力主義の下剋上の時代へと移行する過渡期の現象と言えます。
問2	答え 3 下田	日米和親条約によって即時の開港が定められたのは、静岡県の下田です。しかし、条約締結と同じ1854年（安政元年）には巨大地震である安政東海地震・安政南海地震が立て続けに発生しました。下田は地震による津波の直撃を受け、町の大半が流出するなど壊滅的な被害を受けました。歴史の年表と当時の自然災害の記録を照らし合わせると、開国の混乱の中に大規模な震災が重なっていたことがわかります。
問3	答え 3 漂流民の救助や、船の航行に不可欠な薪水・食料を供給することを主な目的とした。	アメリカが日本に開国を迫った背景には、北太平洋での捕鯨船の補給基地や、中国へ向かう蒸気船の寄港地を確保したいという狙いがありました。そのため、日米和親条約は「貿易」を目的としたものではなく、遭難した乗組員の保護や、燃料（薪）・水・食料の補給を認める内容が中心となっていました。本格的な貿易が認められるのは、1858年の日米修好通商条約を待つこととなります。
問4	答え 1 アヘン戦争で清がイギリスに敗れ、東アジアにおける欧米列強の影響力が強まった。	天保の改革が行われていた1840年代、東アジアではイギリスと清の間でアヘン戦争が勃発していました。この戦争で清が敗れたことは、当時の幕府にとって「アジアの大国であっても西洋の軍事力には抗えない」という強い警戒心を抱かせるきっかけとなりました。これにより、幕府は国内の引き締め（改革）と同時に、外国船に対する慎重な対応を迫られることになり、幕末の動乱期へとつながっていきました。
問5	答え 4 下田 ― 漂流民の保護や、薪水・食料などを供給するため	日米和親条約は、ペリーの来航を受けて締結された条約です。この条約により、日本は長年の「鎖国」政策を転換し、伊豆半島の下田と蝦夷地の函館の2港を開港しました。ここでの主な目的は本格的な貿易ではなく、遭難した乗組員の救助や、捕鯨船などに必要な燃料（薪水）や食料、飲料水を供給することにあります。長崎は江戸時代を通じてオランダや中国との窓口となっていました。この条約の時点では、地理的な利便性から下田と函館が新たな窓口として選ばれました。
問6	答え 3 清から茶を輸入する代価として銀が流出したため、インド産のアヘンを清に売ることによって銀を回収し赤字を解消しようとした。	18世紀のイギリスは清からの「茶」の輸入過多により「銀」が流出する貿易赤字の状態にありました。これを打破するため、19世紀にはインドから清へ「アヘン」を送り、清から流出する銀を茶の代金に充てる三角貿易を形成しました。この仕組みにより、イギリスは銀の流出を抑え、貿易の主導権を握ることに成功しました。
問7	答え 4 薪水給与令	アヘン戦争での清の敗北を知った江戸幕府は、イギリスなどの強大な軍事力を持つ西洋列強との武力衝突を避ける必要があると判断しました。そのため、それまでの方針であった異国船打払令を撤回し、漂着した外国船に対して薪（燃料）や水、食料を供給して穏やかに退去させる「薪水給与令（天保の薪水給与令）」を出し、対外政策を一時的に和らげました。
問8	答え 2 輸出品は生糸、輸入品は綿織物が中心であり、輸出額が輸入額を上回る輸出超過の状態であった。	幕末の貿易において、日本の最大の輸出品は生糸であり、次いで茶などが挙げられます。一方で輸入品は綿織物や毛織物といった衣類原料が中心でした。1860年から1867年にかけての輸出入額の推移を見ると、一貫して日本の輸出額が輸入額を上回っており、この状態を輸出超過と呼びます。この貿易構造は、国内の物資不足や物価高騰を招く一因ともなりました。
問9	答え 1 徳川慶喜	アーネスト・サトウが通訳を担当したのは、江戸幕府第15代将軍の徳川慶喜です。サトウは、大坂城で慶喜とイギリス公使パークスが会見した際などに通訳として同席しました。サトウは慶喜の知性を高く評価しており、その回想録の中では、慶喜が西洋の事情を理解しようとする姿勢や、当時の国際情勢における幕府の立場を説明する様子が記されています。
問10	答え 4 奴隷解放宣言	1863年に出されたこの宣言は、南部連合支配地域の奴隷を解放することを命じたものです。これにより、戦争の目的が「連邦の維持」だけでなく「奴隷制の廃止」という人道的な大義名分を持つようになり、奴隷制に批判的だったイギリスなどの欧州諸国が南部を支援することを困難にさせました。
問11	答え 3 貨幣に含まれる金の量を大幅に減らした万延小判を発行したが、貨幣価値が下がり激しい物価高騰を招いた。	諸外国の金銀交換比率が「金1：銀15」程度であったのに対し、当時の日本は「金1：銀5」程度と金が安く評価されていました。そのため、海外から銀を持ち込んで日本の金貨（小判）に交換し、それを海外に持ち出すことで多額の利益を得る者が現れ、金の流出が加速しました。幕府はこれに対抗して、小判の金の含有量を大幅に減らした万延小判を発行し、1枚の価値を低くすることで交換比率を国際水準に合わせようとした。しかし、貨幣1枚あたりの実質的な価値が低下したことで、市場では商品に対してより多くの貨幣が必要となり、1860年代半ばにかけて米や塩などの諸物価が数倍に跳ね上がる激しいインフレーションを引き起こしました。
問12	答え 2 浦賀	当時のアメリカは、中国との貿易を拡大させる過程で、太平洋を横断する蒸気船の中継地（石炭や水の補給拠点）や、捕鯨船の保護を目的として日本の開国を求めています。ペリーは、江戸に近い三浦半島の浦賀に黒船で現れることで、幕府に強力な軍事的圧力をかけ、長年の鎖国政策を転換させる契機となりました。
問13	答え 4 アーネスト・サトウ	アーネスト・サトウは、幕末の動乱期にイギリス公使館の通訳官として来日しました。彼は単なる通訳の枠を超え、徳川慶喜をはじめとする幕府の要人や、薩摩・長州といった有力藩の武士たちとも接触し、現地の情勢を本国に詳しく報告する重要な役割を担いました。また、日本文化への造詣も深く、日光の観光ガイドブックを執筆するなど、黎明期の日本観光や文化交流にも寄与しました。
問14	答え 4 リンカン	19世紀半ばのアメリカ合衆国では、奴隷制の存廃や貿易政策の相違から、北部と南部の対立が激化し、南北戦争が勃発しました。北部を率いたリンカンは、戦争の目的が単なる領土の維持だけでなく、自由と民主主義を守ることにありと演説で強調し、後に「奴隷解放の父」とも称されるようになりました。